

令和 8 年 9 月市議会 環境経済委員会資料

第83号議案 令和 8 年度長崎市一般会計補正予算（第 5 号）

目 次	（予算説明書頁）	（資料頁）
[7 款 商工費]		
7・1・4 観光費		
1 観光振興対策費		
1 国際会議開催推進費	26～29	2 ～ 3
[11款 災害復旧費]		
11・3・1 市有施設等災害復旧費		
1 【単独】市有施設災害復旧費		
1 現年度災害分	28～29	4 ～ 8

文化観光部
令和 8 年 9 月

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
26～27	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-1	国際会議開催推進費	4,999 千円

1 補正概要

政府系国際会議(第1回日比観光合同作業部会)の本市での本年度開催が決定したことから、県市共催歓迎レセプション及びエクスカーションを開催し、国際MICE都市としての存在感を高めることで、さらなるMICEの誘致を推進し、地域経済の活性化を図るもの。

2 事業内容

【第1回日比観光合同作業部会ほか概要】

- (1)主 催 者 観光庁
- (2)開催期間 令和8年12月9日～11日
- (3)会 場 出島メッセ長崎
- (4)規 模 75名程度(日比来賓)
- (5)概 要 日比国交正常化70周年を機に、日比観光協力覚書(MOC)に基づく実施プログラムへの署名式に併せ、第1回日比観光合同作業部会及び日比国交正常化70周年記念レセプションを実施することで、観光交流の更なる発展を目指す。
- (6)予定行事
 - ア 日比観光協力覚書(MOC)に基づく実施プログラム署名式
 - イ 第1回日比観光合同作業部会
 - ウ 歓迎レセプション(日比国交正常化70周年記念レセプションを含む)
 - エ エクスカーション(市内観光地視察)



3 事業内容

第1回日比観光合同作業部会及び日比国交正常化70周年記念レセプションに係る予算	4,999千円
(1) 歓迎アトラクション謝礼金	275千円
おもてなしの一環として、地元主催の歓迎アトラクションを実施する。	
(2) 歓迎レセプション等委託料	3,461千円
本市での開催を歓迎するため、地元食材等を使用した歓迎レセプションを実施する。	
(3) 大型バス借上料	420千円
エクスカーションの実施にあたり、大型バスの借上げを行う。	
(4) 施設入場料	83千円
エクスカーションの入場想定施設である大浦天主堂や二十六聖人記念館の施設入場料を支出する。	
(5) その他（参加者記念品代・昼食代・会場借上料）	760千円
海外・国内来賓に対し、長崎らしい記念品を贈呈し地元産品PRをする経費などを支出する。	

4 財源内訳

	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他(※)	一般財源
9月補正	千円 4,999	千円 —	千円 —	千円 —	千円 2,499	千円 2,500

※その他財源については、長崎県からの負担金 2,499千円

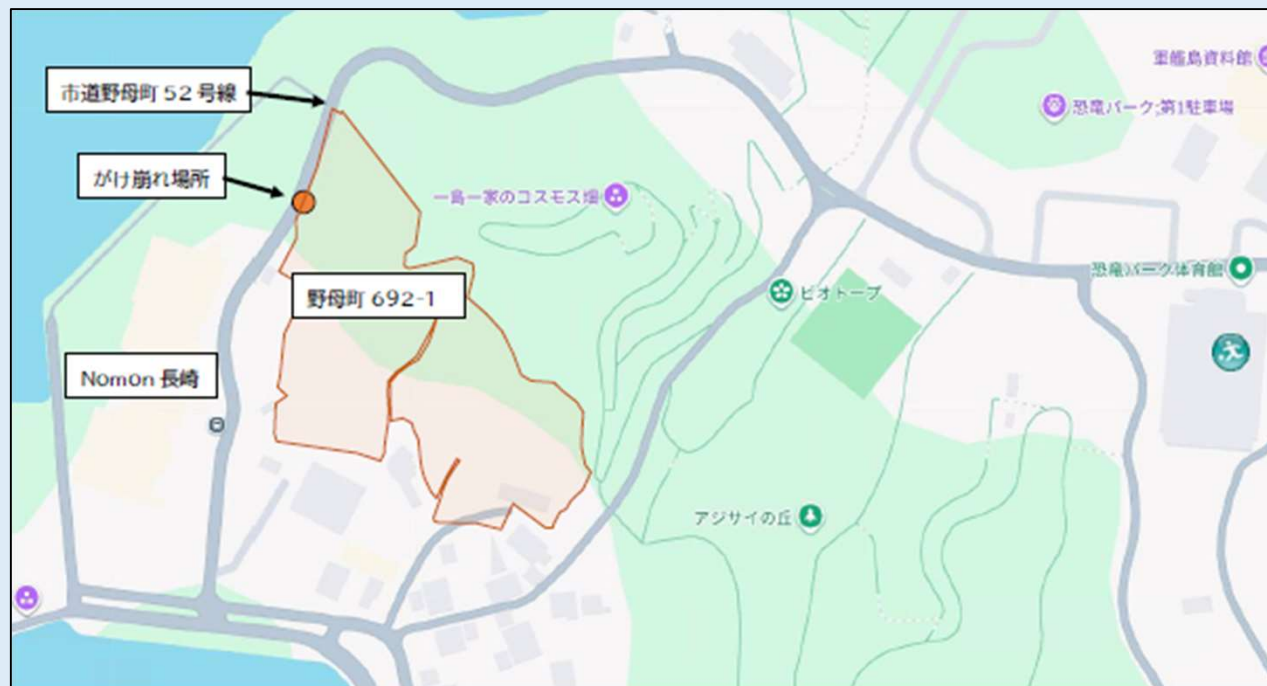
予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
28～29	11 災害復旧費	3 市有施設等災害復旧費	1 市有施設等災害復旧費	1-1	【単独】市有施設災害復旧費 1 現年度災害分	千円 21,000

1 概 要

令和8年7月5日の豪雨により、長崎市所有地（野母町692-1の一部）の法面が崩落し、市道野母町52号線へ土砂が流出したことから、道路利用者の安全確保のため、土砂撤去や土嚢設置などの応急措置を実施した。

今後、恒久的な法面对策工事を速やかに実施するために必要となる地質調査、測量及び実施設計を実施するもの。

(1) 位置図



2 事業内容

法面の安定性を確認するため、ボーリング調査等の地質調査及び測量を実施するとともに、その結果を踏まえ、法面の状況に応じた最適な工法について検討し、実施設計を行う。

(1) 件名: 野母町法面崩壊対策地質調査及び測量設計業務委託 21,000千円

(内訳) 地質調査 9,000千円

測量設計調査 12,000千円

(2) 業務内容: ア 地質調査 ボーリング調査 N=4 箇所、

イ 測量 4 級基準点測量 N=3点、路線測量 L=0.03 km

現地測量 A=0.001 km²

ウ 設計 急傾斜地崩壊防止施設詳細設計 一式

3 スケジュール

区分 \ 時期	令和8年度			令和9年度				令和10年度			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
地質調査及び 測量設計業務 委託	入札等準備期間			地質調査業務委託及び 測量設計業務委託 (R8.10月～R9.3月)							
対策工事 (予定)				入札等準備期間			対策工事(予定) R9.9月～R10.8月				

4 財源内訳

(単位:千円)

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
補正額	千円 21, 000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 21, 000
補正後	千円 21, 000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 21, 000

5 現場写真

R8.7.6(災害発生時)



R8.7.6(応急措置)



R8.7.9(応急復旧工事完了)



R8.7.9(応急復旧工事完了)



6 経過

7月5日(日) 未明 法面崩落

7月6日(月) 9時 現場確認

崩落個所にコーンを設置し、車両を通行止め。

7月7日(火) 応急復旧工事等開始

7月9日(木) 応急復旧工事完了(落石処理、土砂撤去、土嚢設置完了 車両通行止め解除)

7 事業効果

本事業により、法面の安全性を確認し、必要な恒久対策工事を実施することで、再崩落を防止し、市道利用者の安全・安心の確保を図る。

また、災害の再発防止を図ることで、地域住民の生活環境の維持及び道路機能の確保につながる。